

『演習で学ぶ看護研究』研修申込書

申込日： 年 月 日

| | | |
|--------------------|------|--|
| 施設名： | 電話 | |
| 施設における 教育・研修担当者 | Fax | |
| | Eメール | |

| 研究代表者氏名 | 沖縄県看護協会 | 職 種 | 経験年数 | 備 考 |
|---------|---------|---------|------|-----|
| | 会員No. | 保・助・看・准 | | |

※共同研究者の中で研修に参加する方は下記の欄に記入してください。

| 共同研究者氏名 | 沖縄県看護協会 | 職 種 | 経験年数 | 備 考 |
|---------|---------|---------|------|-----|
| | 会員No. | 保・助・看・准 | | |
| | 会員No. | 保・助・看・准 | | |
| | 会員No. | 保・助・看・准 | | |
| | 会員No. | 保・助・看・准 | | |
| | 会員No. | 保・助・看・准 | | |

| | |
|-----------|--|
| 主な内容（演習） | <p>1回目：事前課題研究計画書のプレゼンテーション、ディスカッションを行い、研究計画書の修正と次のステップであるデータ収集につなげる。</p> <p>2回目：収集したデータに関するプレゼンテーション、ディスカッションを行い、分析方法の検討と結果および考察につなげる。</p> <p>3回目：研究成果のプレゼンテーションを行い、参加者の意見を研究発表および研究論文に反映させる。</p> <p>4回目：各グループが取り組んできた研究成果の発表を通して、看護研究を社会化していく過程を学ぶ。</p> |
| 対象者 | 4回受講が可能な者で、次年度学会発表を考えている者及びその指導者 |
| 事前課題 | <p>・研究計画書（P72）の書き方に関する下記の文献（4編）を読むこと</p> <p>①日本看護協会編:看護実践研究・学会発表のポイントQ&A上巻 研究テーマの選択から学会発表へ 日本看護協会出版会 2013</p> <p>②日本看護協会編:看護実践研究・学会発表のポイントQ&A下巻 論文作成から投稿へ 日本看護協会出版会 2013</p> <p>③黒田裕子：看護研究 step by step（第5版）学習研究社 2016</p> <p>④竹内登美子（監）：看護研究サクセスマニュアル 株式会社エスエムエス2013</p> |
| 事前課題1（必須） | 「研究計画書」及び「研究計画書に記載した内容に関連する論文1編」（コピー）を 6月7日（月）までにメールに添付して教育課へ提出すること |
| 備 考 | <p>★申込演題数が定数を超えた場合は調整させていただきます。</p> <p>★研究代表者、参加予定の共同研究者は、毎回申込が必要です。</p> |